

<教養研究センター主催> 不破有理教授 最終講義

『アーサー王伝説に魅せられて』 ～研究と教育と～



不破有理教授は、テキストを通してのアーサー王の伝承と受容をご専門とされています。40年という長きにわたって学術領域を超えて教員と学生の連携を図り、研究と教育実践の融合に多大なるご尽力をなさいました。

この度、ご退職に際して、不破先生のご貢献に感謝し、最終講義を実施いたします。

発起人：柏崎千佳子、鈴木亮子、迫桂、徳永聡子、永井容子(代表)

日時：2023年2月8日(水)
14時～15時45分(予定)

①対面参加 (先着順・100名)

会場：日吉キャンパス来往舎1階シンポジウム
スペース

対象：塾生・慶應義塾教職員

<申込み> <https://forms.gle/GYHftyp7Crwvz7hHA>



(要 keio.jp 認証)

②オンライン参加 (ZOOMウェビナー)

対象：どなたでも

<申込み> <https://forms.gle/wGRkfx2kYR7VF936>



お問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp
慶應義塾大学教養研究センター



経済学部
不破有理教授

アーサー王の剣
「Excalibur」を前に
(2022年近影)

ケンブリッジ留学中にアーサー王物語に出会って以来、アーサー王研究へ。

さらにウェールズ留学を機に、英文学にウェールズと「裏切り者」モードレッドの視点を加えアーサー王研究に取り組む。

またトマス・マロリーの『アーサー王の死』のテキスト出版がどのようにアーサー王物語の受容に寄与したか、印刷・編集・出版に関わった声なき人々の史料を発掘、鋭意発表中。国際アーサー王学会日本支部会長・副会長歴任。